

技術・家庭科 《第3学年技術分野》年間指導計画・評価計画

担当（松井 厚）

技術・家庭科 目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

技術分野の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

（例）**関**は、生活や技術への関心・意欲・態度、**工**は、生活を工夫し創造する能力、**技**は、生活の技能、**知**は、生活や技術についての知識・理解

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準		評価の方法	小学校との 関連
4	A 材料と加工に関する技術	材料の特徴と利用方法を知ることができる。	・製作の進め方を理解する。 ・正確にけがきができる。	関	省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。	授業監察 プリント	図画工作5年生 実習例「自由に切った形から発想したものや用途を考えたものを作る。」などでの使用する工具や加工法との関連
5	金属の加工	材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できる。	・正確に切断ができる。	工	製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから材料、用途及び丈夫さなどを比較・検討した上で、製作品やその構成部品の適切な形状と寸法などを決定している。	授業監察 製作図 作品点検 定期考査	
6	キーホルダーの製作	材料と加工に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。	・仕上がり寸法線まで金属をける技術を理解し、正確にけることができる。		技	製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立て・接合、仕上げができる。	授業監察 製作図 作品点検
7	<10 時間>	材料と加工に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。	・正確に穴をあけることができる。		知	製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。	定期考査 ノート
9	○部品表と工程表	使用目的や使用条件に即した機能と構造について考えることができる。	・接合の方法と順序を確認し、製作品の表面や角を仕上げる技術を知り、正確に仕上げができる。	関	エネルギー変換に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較検討しようとしているとともに、適	ワークシート 授業監察	
10	○けがき	部品加工、組立て及び仕上げができること。					
11	○切断・切削						
12	○穴あけ ○部品の修正と検査 ○組立てと仕上げ						
1	C エネルギー変換に関する技術<4 時間>	エネルギーの生活と社会に果たす役割を理解する。	・さまざまな機器を通じて、I 祢ギ-とI 祢ギ-変換を理解する。	関	エネルギー変換に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較検討しようとしているとともに、適	ワークシート 授業監察	
2	○私たちの生活とエネルギー資源の種類	エネルギー変換の仕組みと安全な利用方法を知る。	・I 祢ギ-資源の種類とその利用法を理解する。身の回りの電源の種類				

3	<p>○エネルギーの変換と利用</p> <p>○機器の保守点検と整備</p> <p>○機器の安全な利用と事故防止</p> <p>○エネルギー変換に関する技術と社会・環境との関わり</p>	エネルギーの適切な活用について考える。	<p>類と特徴を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気エネルギーの変換を理解し、適切な利用方法が選択できる。 ・電気機器の点検について知り、安全な利用について理解する。 ・電気機器の手入れや点検について知り、事故防止の具体的な方法を身につける。 		切な解決策を示そうとしている。		
				工	エネルギー変換に関する技術の課題を明確にし、適切な解決策を見出している。	授業監察 定期考査	<p>理科4年生 「電気の働き」との関連。</p> <p>理科5年生 「電流の働き」との関連</p> <p>理科6年生 「電気の利用」との関連</p>
				技	漏電、感電、加熱及び短絡による事故を防止できる。	授業監察	
				知	<p>社会で利用されている機器等における、エネルギー変換の、制御、利用についての知識を身に付けている。</p> <p>エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割</p>	定期考査 ワークシート	

技術・家庭科 《第3学年家庭分野》年間指導計画・評価計画

担当（ 中田 慶子 ）

家庭分野の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術をするとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

★**関**は生活や技能への関心・意欲・態度、**工**は生活を工夫し創造する能力、**技**は生活の技能、**知**は生活や技術についての知識・理解

月	題材名	指導目標	指導内容	評価規準		評価の方法	小学校との 関連
4	3 幼児の生活と遊び ＜8時間＞	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長や生活は家族やそれに代わる人々に支えられてきたことを確認する。 幼児の発達の特徴について理解する。 成長発達やコミュニケーションを促す幼児の遊び方について考え、計画するとともに、計画を通して幼児に関心をもつ。 	■ 幼児の発達を知り、家族の役割や地域とのかかわりを考える。 ◇近隣の幼児を観察し、幼児の言動や活動、周囲の大人のかかわりを記録する。 ◇幼児の体と心の発達について知る。 ◇遊び道具の役割を知る。	関	・幼児の観察や遊び道具の製作などの活動を通して、幼児に関心をもつ。	行動観察 プリント	・自分のことをもっと知りたいな(低学年 生活)
5	①幼児期ってどんな時代？						
	②幼児の体の発達						
	③幼児の心の発達						
	④子どもの成長と家族の役割						
6	⑤子どもの成長と地域	・幼児に合ったおもちゃやおやつを考え、作ることができる	◇保育体験の幼児の年齢に合ったおもちゃやおやつを工夫し、製作する。	工	・幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具、遊び方について考え、工夫している。	行動観察 ペーパーテスト プリント	
7	⑥幼児の遊びと発達			知	・幼児の発達の特徴について理解している。	ペーパーテスト プリント	
	⑦幼児の遊びを支える						
9	幼児と遊ぶおもちゃづくり ＜8時間＞			関	・おもちゃ作りに積極的に取り組む。 ・幼児にとってのおやつに関心を持って調べたり作ったりできる。	行動観察 作品	
10	おもちゃの製作						
11	おやつ作り						
12				工	・幼児に合ったおもちゃやおやつを考え、工夫できる。	行動観察 デザイン 作品	
1				技	・幼児の発達段階を考えて、おもちゃやおやつを作ることができる。	行動観察 作品 ペーパーテスト	
2				知	・おもちゃの作り方を	ペーパーテスト	

3					理解している。 •おやつ知識がある。		
---	--	--	--	--	-----------------------	--	--